

中部横断自動車道(富沢～六郷間)の工事における トンネル構造物の不具合事象発生についての知事コメント

令和2年12月18日

- このたび、施工中のトンネル構造物に不具合が確認され、原因究明の必要が生じたことは、安全で安心な高速道路の一刻も早い開通を望む県民の期待を裏切る出来事であり、私も深く失望したところです。
- いうまでもなく、中部横断自動車道は、本県にとって産業経済や観光振興に寄与する重要な高速道路であることに加え、国土強靱化の面においても、県民の期待が大きい道路です。
- 開通を間近に控え、新たな企業立地も進む中、県では峡南5町と道の駅ネットワークの取り組みを始めたところであり、来年夏に予定される全線開通を契機とした地域活性化にも、大いに期待が高まっているところです。
- 唯一の工事中区間である南部IC～下部温泉早川IC間は、これまでも難工事を理由に何度も開通時期の遅れが生じた区間であり、これ以上開通時期を遅らせることなど、決して容認できるものではありません。
- 国におかれては、速やかな原因究明と対策に努めることはもちろん、県民の大きな期待に応えるべく、一日も早い全線開通に向け、全力で取り組まれることを強く求めます。

山梨県知事 長崎 幸太郎